

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133301		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。												
事務事業名	伊丹マダン企画運営事業							担当部局・課	市民部 国際・平和課			評価結果 A 上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。 上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。			
事業内容	屋外の舞台において、外国人市民を中心とした歌や舞踊・楽器演奏を、出店では民族料理を、子どもたちも参加・体験できる遊びのコーナーやフリーマーケットを開催し、外国人市民と日本人市民との交流の場とする。							事業開始(予定)年度							
								平成8年度							
								事業終了(予定)年度							
							—								
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現												
		項目	きめ細かな地域福祉の推進												
		施策	多文化共生のまちづくりの推進												
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。														
事業の目的	地域社会に根強く残る外国人市民に対する民族的な偏見や差別を解消する。							予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 総務費 (項) 総務管理費 (事項) 国際交流推進経費 (目) 企画費						
事業費等の概算	平成17年度(決算)							平成18年度(予算)							
	事業費	895千円	財源内訳					事業費	900千円	財源内訳					
			国・県補助金等		—					国・県補助金等		—			
			市債		—					市債		—			
			その他(使用料等)		—					その他(使用料等)		—			
			一般財源(市税等)		895千円					一般財源(市税等)		900千円			
	投入人員	0.30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					投入人員	0.30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					
	人件費	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					人件費	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					
経費合計	3,465千円						経費合計	3,470千円							
活動指標	指標名(単位)	参加人数(人)						計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度				
	意味・算式等	舞台演技の鑑賞者人数、出店の利用者人数、体験コーナーの参加人数							計画値	3,800	3,800				
									実績値	4,000					